

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 9 月 21 日 (2017.9.21)

【公開番号】特開 2015-83662 (P2015-83662A)
 【公開日】平成 27 年 4 月 30 日 (2015.4.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-029
 【出願番号】特願 2014-178747 (P2014-178747)
 【国際特許分類】

C 0 8 F 8/46 (2006.01)

C 0 8 L 23/26 (2006.01)

C 0 8 L 23/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 8/46

C 0 8 L 23/26

C 0 8 L 23/02

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリオレフィン (A) と不飽和 (ポリ) カルボン酸 (無水物) (B) とをラジカル開始剤 (D) の存在下で反応させる変性ポリオレフィンの製造法であって、該 (A) が数平均分子量 30,000 ~ 400,000 のポリオレフィン (A0) を熱減成して得られ、数平均分子量 800 ~ 50,000 であり、炭素数 1,000 個当たり 0.1 ~ 20 個の二重結合を有し、該 (A) の (A) に基づく分子量 500 以下の含有量が 0.10 ~ 15 重量 % である変性ポリオレフィン (X) の製造法。

【請求項 2】

(A) と (B) との重量比 [(A) の重量 / (B) の重量] が、80 / 20 ~ 99 / 1 である請求項 1 記載の製造法。

【請求項 3】

(X) 中の遊離カルボン酸成分の割合 () が、該 (X) に基づいて 3.5 重量 % 以下である請求項 1 または 2 記載の製造法。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか記載の製造法で得られる変性ポリオレフィン (X) を含有してなる樹脂改質剤 (K) の製造法。

【請求項 5】

請求項 4 記載の製造法で得られる樹脂改質剤 (K) とポリオレフィン樹脂 (E) を含有してなるポリオレフィン樹脂組成物の製造法。

【請求項 6】

(K) と (E) との重量比 [(K) の重量 / (E) の重量] が、10 / 90 ~ 40 / 60 である請求項 5 記載の製造法。

【請求項 7】

請求項 5 または 6 記載の製造法で得られるポリオレフィン樹脂組成物を成形してなる成形品の製造法。

【請求項 8】

請求項 7 記載の製造法で得られる成形品に塗装および / または印刷を施してなる成形物品の製造法。